

育てよう 鏡野のよい子シリーズ



「読書と想像力」

職員室で仕事をしていると、休み時間になる度、図書室に向かう子どもたちを目をやってしまう。手に持った本のジャンルはでんでバラバラでも、皆同じく弾んだ顔をしているように見える。そんな子どもたちを見ると、自分まで本を開きたくなってくる。

さて、コロナ禍で旅行どころか外出が憚られるようになって、かなりの時間が過ぎた。私のような旅が好きな人間には死活問題なのだが、そのおかげとも言える嬉しいことが二つある。読書に当てられる時間が増えたことだ。元々本を積み上げて時間のある時に消化するタイプだったのが、最近は積むことすらなく読み終えているのだから、増えているに違いない。

本に没頭と書いたが、映像娯楽が充実している現代、文字を追うのを苦手に感じる子どもたちもきつと存在する。時間があるから本を読もう、ではなく動画でも見よう、という子どもたちが増えているのではないか。少し寂しいが、それが悪いと言いつもりもない。

しかし読書と映像を見ることは、没頭の意味が違ってくるものだ。「考えて想像力を働かせる」という能力が必要になる以上、文字を元に頭で想像する過程は、映像で見たよりも鮮明な記憶を残してくれる。読むほどに自分の世界が広がっていく。それが本にのめり込むというこの意味だと思う。

冒頭で書いた通り、辛い日々ではあるが、この情勢はむしろ良い機会だ。せっかく家にいる時間が増えているのだから、子どもたちには想像の世界に飛び込む時間を少しでも増やしてみてほしい。心から楽しいと思えるのがまだ先でも、その経験自体が大きな意味を持つ日が、必ずやってくるから。

今日も休み時間になると、子どもたちは図書室に向かう。これからまたたくさんの本に出会って、たくさんさんの経験をして、豊かな感性を持った大人になってほしい。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

大野小学校 曾我部 真也

のびのびひろば 保育園でイチゴ狩り おいしかったよ

大収穫!!

5月下旬、昨年株分けして植えていたプランターのイチゴが収穫の時期を迎えました。ポカポカと春の暖かい日差しを浴びて、4月からぐんぐんと生長し、たくさんの実がついていきました。日に日に赤くなっていくイチゴの様子を観察しながら「早く食べたいなあ」「たくさんできたらみんなでイチゴ狩りしよう」とワクワクしていた年長児さん。収穫時には採りたてのイチゴを一口噛じると「おいしーい!」と大満足でした。

他にも富保育園にはさくらんぼ、ブルーベリー、姫リンゴなどの果物や季節の野菜が植えてあります。これから夏、秋、冬の味覚も楽しみにしています。

大きなあられ

やったー!こんなにたくさん採れた!!

あま〜い♡

イチゴの絵本を見て…

これ食べてみたい

(富保育園)

☆クッキング☆

3時のおやつ
「イチゴサンド」

自分で作ると
おいしいよ!

折り紙で
イチゴを作ったよ

ブルーベリーも
オススメです♪

いちごヨーグルトアイス

★材料 (4人分)
いちご 1パック
練乳 大さじ1
プレーンヨーグルト 120cc
砂糖 50g
※冷凍イチゴやイチゴジャムでもできます

★作り方
① 材料をフリーザーパックに入れて混ぜ合わせる。
② 時々混ぜながら冷凍庫で2〜3時間冷やしたら完成。